

# 新しい風ニュース NO 252

やまがたの環境とくらしを考える会 (通巻289)  
岐阜県山県市西深瀬208 TEL・FAX 0581-22-4989

なんでも相談 どの政党とも無関係の 寺町ともまさ 2012年3月31日  
毎日、千数百のアクセスがある私の日記(ブログ)は「てらまちねと」で検索  
HP ⇒ <http://gifu.kermin.net/teramachi/> ご意見は、メール ⇒ [tera@ccy.ne.jp](mailto:tera@ccy.ne.jp)

春らしくなったこのごろです。春は人の気持ちをうきうき楽しくしてくれるので、好きな季節です。このニュースでは、市の予算や関連情報をお伝えしていますが、市民の皆さんのお声などをいただき、感謝しています。あわせて、現状の確認や私の提案を説明します。

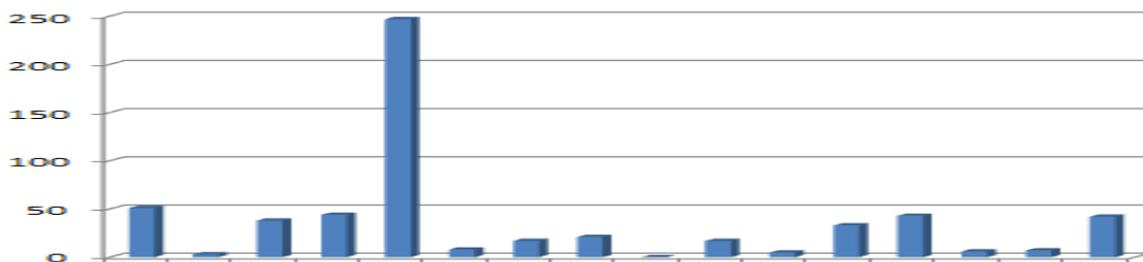
## 発言し、議論してこそ 議員じゃないの!

私は、どこの党派にも属しませんが、各地の「無党派・市民派」の議員らと勉強会を続けています。おかげでいろんな勉強ができます。議場での一般質問も質疑も深くできます。

議員の仕事は「政策提案」や「現状の問題の指摘」「行政のチェック」などと言われています。その基本は、議会の本会議場や委員会で発言と議論にあります。まず、その点検です。

## 議場での質疑・発言の議員ランキング

山県市議会は、定例会の中間の本会議で、各議案について一問一答方式で、1件につき3回まで質問ができます。事前に内容を通告しておく「一般質問」と違い、項目の通告はするものの、実質的に、筋書きなしのまま本会議場での「ぶっつけ本番」の議論は準備も必要ですが、一番活発といえます。議場で十分に発言するためにはしっかりとした勉強が必要です。



質問合計	51	3	38	44	247	8	17	21	0	17	5	33	43	6	7	42
氏名	久保田均	村瀬伊織	小森英明	藤根圓六	寺町知正	後藤利てる	影山春男	武藤孝成	谷村松男	田垣隆司	宮田軍作	横山哲夫	尾関律子	杉山正樹	石神真	上野欣也
議席番号	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

山県市議会における2008年6月から2011年3月までの3年間の本会議場での質問回数の合計(定例会中間日の議案質疑を集計)。(議長である08年藤根、09年後藤、10年久保田の各氏は1年間質疑しないので上表では1.5倍にしている) (議席番号は在職期数・年齢順が議会の慣習)

最近いただいた声のうちのいくつかにお答えします。

## 345億円もの借金 職員の人件費などを削減して！

**【市民の声】** 山県市には、350億円も借金があるという。だれが、こんなに借金をした。借金を返すのにいくら使っているのか？ いずれにしても、職員の人件費などを削減して、借金を減らさないといけない。夕張のようになったら、子や孫たちになさけない。

**【寺町のコメント】** ニュース249号で報告しましたが、今の市の借金は約345億円です。この借金を返すための分だけで、今年は「32億円」が必要（山県市の総人件費とほぼ同額）。「市のいろいろな事業を進めつつ借金を返していく」こと、同時に、「とても苦しい人が少なくない市民の暮らしを改善」し、「官民の所得格差の解消」のためにも、職員人件費の削減がどうしても必要です。

**【市長の公約の検討】** 現市長の昨年の市長選挙の公約集の「施策1」では、「人件費を削減しつつ市民サービスを増進」として、「指定管理者制度導入等により職員数を大幅に削減」とされています。しかし、市長は「給与10%削減」しただけで、職員給与は、ほぼ変わりありません。また、指定管理者制度は、『施設管理に必要なそれまでの『職員人件費相当』分も含めて『すべてを委託料』という費目として民間の会社に支出する』ことです。結局、「職員人数は減り」ますが、市の「実質的な人件費」の支出はそれほど減らない制度です。

給与などの削減をしないかぎり、市長公約は「見かけだけの人員削減・人件費削減」です。

**【寺町の提案】** 私は、市の予算の約1/4を占める「職員らの給与などの人件費」を削減し、財源をつくり、市民のための新しい施策を各種はじめることを提案しています。

## もっと節約を！



次のニュースは、月曜日休刊につき、4月10日（火）朝刊をご覧ください。

（岐阜新聞 2011 年12月3日記事から） ◆山県市議会議員選挙は4月15日

「山県市選管は2日開き、任期満了（来年4月30日）に伴う市議選の日程を4月15日告示、同22日投票、即日開票と決めた。定数は現在の16から14に削減して行う。」

## 議員選挙での「市長 推薦」は 絶対 おかしいですよ

【市民の声】 候補者が、選挙用のパンフレットを持って来た。〇〇さんのパンフには、「市長 推薦」と書いてある。しかし、議員になろうとするのに、「市長の推薦をもらっています」というのはどう考えてもおかしい。議員と市長がそんな馴れ合ったことで良いのか。「市役所となあなあで行きます」というのと同じで議員の意味がない。法律違反ではないか。

【寺町のコメント】 実際、議員選挙の予定候補者のパンフなどやハガキに『推薦 市長 〇〇』などと書いたものがあります。

地方自治体では、議会と首長が共に住民を代表する二元代表のシステムがとられています。選挙で選ばれた住民の代表機関である議会と首長とが、相互の抑制・均衡を通じて、民意を反映した政治・行政が行われることを期待するシステムです。ですから、議会（議員）が果たすべき機能は、政策形成機関（＝専門職としての議員像）とコントロール機関（＝監視・統制する議員像）といわれています。

議会と行政は、適度な緊張関係が保たれてはじめて、それぞれの意義が発揮されます。活発に知恵を出しあい、さん新たな発想を投げかけあい、真に地域のためになる政治ができます。

それにもかかわらず「議員選挙での市長推薦」というのは、「私は当選したら市長の出す議案には、何でも賛成します」という契約を事前に結んだ、だから、有権者の皆さん、私を当選させてくれ、というに等しいことです。つまり、「議員が本来、果たすべき義務を私は放棄します」ということを表明しているのに近いことです。

たとえば、選挙前に「市長の推薦」をもらっておいて、「職員人件費の大幅削減」を選挙前にいうことは、両立不可能なことを言っていると、たいていの市民は見抜いています。

## 公務員はその地位を利用して選挙運動をしてはならない

総務省の関係者がつくった【「地方選挙の手引き」（選挙制度研究会／ぎょうせい）】には  
「公務員はその地位を利用して選挙運動をしてはならない（公選法136条の2）」  
「…ここでいう『すべての公務員』とは、一般職だと特別職だとを問わないので、  
…市町村長、議員はもとより、非常勤の消防団員もここでいう公務員である。」

選挙のポスター（市内に105枚のポスター掲示板）や「公選はがき」（候補者一人当たり2000枚まで発送可）に、「推薦 市長」と書かれた例が時折あるようです。上記の解説からは、どうなのでしょう？

「推薦 市長」とかかれた「選挙用はがき」が届いたら、よく見比べてください。

なお、以前、一般の市民の方から、「自分が知らないのに、勝手に『推薦者』に名前を書かれて、配られた」と相談を受けたことがあります。「推薦者 〇〇」は、根の深い問題です。

## あなたの倫理度チェック

- 不正が続いた山口市だからこそ どこに  しますか
- 市長と議員は利害も同じようだから、持ちつ持たれつで、選挙の「市長推薦」は当然だ
  - 「市長推薦」があっても議場で時には「ノー」といえるならいいけど、難しいだろうね
  - 「市長推薦」がある人は、「私はいいなりになります」ということだから信用しない

## 議員の人数が多すぎる、報酬も引き下げを！

【市民の声－１】 てらまちさんのニュースにもあったけど、人口3万をきった山県市の議員の人数はもっと少なくすべきだ。報酬もさげるべき。それに、市役所も自治会要望などを聞くシステムを作っており、地域の「ドブ板議員」は、もう必要ない時代だ。

【市民の声－２】 昔流の「ドブ板」選挙はもう終わりにしてほしい。議員は、政策を提案したり市の事業の現状を変更したり、それと行政の監視役、その両方の仕事をする責任がある。その議員が、「自分の地域の道などを良くする」という利益を導く役割をしていたら、行政にいうべきことも言えない。市民も、ここでしっかり自立して、市の未来をみすえ、選挙に臨んでほしい。

### Q・「ドブ板選挙」の意味を教えてください。

【インターネット／「ヤフー・知恵袋」から】

A・二通りの意味があります。

1. 路地裏までくまなくまわる、といった意味での丁寧な選挙活動のこと。
2. 「利益誘導型政治活動」を皮肉った言葉。ドブ板の架け替えに例えて、露骨な地元重視のこと。

【寺町のコメント】 かつて、行政の仕事が偏っていることが目立った時代から、今は公共事業的なことは、それなりに整備されてきています。足りないところの拡充、手当ては大事。でも、それを「議員の仕事の第一」とする時代は、すでに過去のことです。市民の皆さんには、市側の対応の仕方につき、今の時代にあったように修正を求める意識が広がっています。

【市長の公約の検討】 現市長の公約集の「施策2」には、「**地域委員会の設置など**」として、「**市民の意思を市政に反映しやすくするための地域委員会の設置を検討**」とあります。

【寺町の提案】 地域委員会をつくり、地域課題はそこでより適切に解決すれば、議員は基本的には市全体のことに取り組む能力と意欲のある少数精鋭の人数で十分です。

私は、人口3万人の山県市に見あった「議員定数10人」に削減しようと提案しています。同時に、議員は、ボランティア的な仕事です。自ら立候補して務める仕事ですから、報酬が少なくても当然です。

## あなたの倫理度チェック

- 不正が続いた山県市だからこそ どこに  しますか
- 地区の道路などの整備が一番な議員の仕事だから、ドブ板議員こそ必要だ
  - 適当に地域に奉仕してくれさえすれば、議会での議員の仕事はあまり気にしなくても
  - どうしても、市が対応しないときは、市民の立場で検証し働くという議員が必要だ